



重篤な感染性肺炎(COVID-19)看護指導

制定 2020.12
日本語版修訂 2024.09

一、新型感染性肺炎 (COVID-19) とは

2020年2月11日に世界保健機関 (WHO) により、新型コロナウイルスという疾患は COVID-19 と命名されました。台湾には法定の第四類伝染病「重要特殊感染性肺炎」として定められており、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス 2 型 (SARS-CoV-2) による病気です。主に鼻づまり、鼻水、咳、発熱、呼吸困難、下痢などの呼吸器症状が主な特徴になっています。

二、感染経路について

- (一)飛沫感染：感染者が咳やくしゃみをする時、ウイルスを含んだ飛沫が放出されます。これらの飛沫を直接吸入することによって主な感染経路になっています。
- (二)接触的な感染：感染者に直接に接触したり、感染者が触れた表面や物品（間接的な接触）に触ることで感染する可能性があります。特に感染者の口や鼻の分泌物、目や表面に付着したウイルスに触った後、自分の口や鼻、目に触ると感染リスクがもっと高くなります。
- (三)空気による感染：特定の状況で、特に密閉された空間や換気の悪い環境で、ウイルスが空中の微小なエアロゾルとして広がる可能性があります。
- (四)糞、口による感染：主な感染する経路ではありませんが、感染者の糞便にもウイルスが存在し、汚染された物や食べ物による広がる恐れもあります。

三、潜伏期間について

感染後、通常 2～14 日の期間で、ほぼ患者は潜伏期間が 5～6 日となっています。潜伏期間に、感染者は無症状、または軽度の症状しかない場合もあります。但し、潜伏期間のウイルスも他人に移るリスクがあります。

四、診断方法について

(一)核酸検査 (RT-PCR)：咽頭綿棒または深部呼吸器検体からウイルスの遺伝子資料 (RNA) を検出することによる、COVID-19 感染の有無が確認できます。

(二)抗原検査：患者の検体で新型コロナウイルスのタンパク質抗原が検出できます。核酸検査より速いですが、感染初期では感度が悪い場合もあります。

(三)抗体検査 (血清学上の検査)：血液で抗体の有無が検出できます。ただ、感染した初期には抗体が生成されていない可能性があります。

五、臨床症状について

主な症状には発熱、咳、呼吸困難などになっています。一部の患者では吐き気、嘔吐、下痢などの消化器症状も時々見られます。胸腔レントゲン検査による肺炎を判断されることがあります。但し、重症症例となっている急性腎不全、心膜炎、血管内血栓症などの合併症になるリスクも高いです。

六、重症化になる要因

特に 65 歳以上の高齢者、癌患者、糖尿病者、慢性腎疾患患者、心血管疾患患者 (高血圧を除く)、慢性肺疾患患者 (特発性肺線維症患者、肺塞栓症患者、肺高血圧患者、気管支拡張症患者、慢性閉塞性肺疾患患者)、結核患者、慢性肝疾患患者 (肝硬変患者、非アルコール性脂肪性肝疾患患者、アルコール性肝疾患患者、免疫性肝炎患者等)、喫煙者、BMI \geq 30 (または 12-17 歳の青少年の場合、同年齢 95%以上) の者、妊婦 (または出産後 6 週間以内の者)、HIV 感染者、先天性免疫不全者、ステロイドや他の免疫抑制薬の使用により免疫機能が低下している疾患患者はリスクが高いです。その上、社会経済地位が低い者、適切な医療を受けられない者、人口が密集している地域での住民や勤務者、また、適切な個人防護措置の欠如など諸原因も含まれている状況者もリスクが高いことになっています。

七、治療方法について

(一)対症療法：軽度から中等度の症状の患者には、休息、十分な水分摂取、適切な栄養摂取、必要に応じて解熱剤や咳止め薬を使用して、症状を緩和します。

(二)酸素療法：重症化した患者に、特に呼吸困難や低酸素血症などを判

断した場合は、酸素療法や必要に応じて人工呼吸器（呼吸器）の使用が必要になります。

(三)抗ウイルス療法：現在 COVID-19 の治療に使用されている薬剤には、レムデシビル（Remdesivir）、パクスロビド（Paxlovid）、モルヌピラビル（Molnupiravir）などがあります。これらはウイルス複製を抑制し、ウイルス量や感染期間の短縮に役立ちます。

(四)免疫調節療法：一部の患者は、ステロイドやトシリズマブ（Tocilizumab）などの免疫調節薬を受けることになっています。これらは抗炎症作用や免疫抑制作用に効き、ナトリウムおよび水のバランスの調整、タンパク質および脂質代謝に助けます。

八、日常生活での注意事項について

(一)発病中には家庭での安静を保ち、毎日朝晩に体温を計り、健康状態、活動履歴を詳しく記録してください。また、医療用マスクを着用し、外出を避け、他人と可能な限り1メートル以上の距離を保つことです。

(二)マスクに口や鼻の分泌物が付いた場合は、すぐに新しいマスクを替わり、内側をしっかりと折りたたんでゴミ箱に丁寧に捨ててください。

(三)手の清潔を保つために、頻繁に手洗いを行ってください。原則として、石鹸と水またはアルコール性消毒液を使って、いつでも手をきれいにしてください。

(四)もし直接に目、鼻、口に触っていなくても、呼吸器の分泌物に触った場合は、石鹸と水でしっかり手を洗ってください。

(五)お宅で使用する消毒液を作成し、環境の清潔を保ってください。市販の漂白剤は5%の次亜塩素酸ナトリウムを含んでいるので、1ccの漂白剤は100ccの冷水で薄めて使ってください。効果的な殺菌効果が24時間続けます。

(六)漂白剤の揮発性が呼吸器に影響されることがあるため、呼吸器アレルギーを付けている方は消毒時には一時的に離れてください。窓を開けて換気を行ってください。消毒後は清水で洗ったり拭き取ったりしてください。皮膚の刺激を最小限に抑えてください。

(七)広い範囲の消毒は必要ではありません。身内によく触れる物品や家具の表面、ドアノブ、テーブルトップ、子供のおもちゃなどに重点的に消毒を行ってください。

(八)COVID-19 ワクチン接種政策に協力しながら自己保護能力を向上するように呼びかけます。

(九)発熱、咳、呼吸困難などの症状がある場合は、必要に応じて自己抗原検査を行い、医療機関を積極的に受診してください。公共交通機関を利用する際や外出時には是非マスクを着用し、医院で定められた分流受診手順に従ってください。

退院後は医師の指示に従い再度来院いただき、患者様には医療扶助の申請を行っていただきます。退院後にご不明な点がございましたら、記念病院健康相談ホットラインまでお電話ください。台北/淡水馬偕/小児病院 (02)25713760、新州馬偕/小児科 (03)5745098、台東馬偕(089)310150 内線 311。お問い合わせ時間：月曜日から金曜日，午前 9:00~12:00、午後 2:00~5:00

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます